

国際航路協会 年次総会（ベルリン AGA） 出席報告

PIANC-Japan 事務局長

柳 生 忠 彦

国際航路協会 年次総会（ベルリン AGA）が 2011 年 5 月 16 日から 19 日まで、ベルリン（ドイツ）中心部の Maritime proArte Hotel Berlin（総会）と 130 年前に建設されたドイツ運輸建設省（技術セミナー）の庁舎で開催され、出席しましたのでその報告をします。



総会会場のホテル



セミナー会場の運輸建設省の庁舎

1. 出席者

日本からは、国際港湾協会の川嶋副会長と奥さま、国土交通省港湾局国際・環境課、塩崎課長並びに有本国際調整官、国際港湾協会日本会議（IAPH - Japan）須野原相談役と奥さま並びに小職が出席いたしました。

各国の参加者は次のように 25 カ国から 119 人（同伴者を除く）を数えました。

国名	人数	国名	人数	国名	人数	国名	人数
ベルギー	19	オランダ	5	ポルトガル	2	チェコ	1
アメリカ	15	インド	5	イタリア	2	ルーマニア	1
ドイツ	10	日本	5	フィンランド	2	オーストラリア	1
フランス	8	スペイン	4	エストニア	2	アルゼンチン	1
ノルウェー	8	フィンランド	3	中国	2		
韓国	8	イラン	3	セルビア	1		
イギリス	7	オーストリア	3	アイスランド	1		



日本からの出席者



各国の出席者

2. プログラム

プログラムは次の表に示す通りです。

5月16日(月)		5月17日(火)		5月18日(水)		5月19日(木)	
事務局長会 議 (マリタイム ホテル)	12:30 ～ 17:00	総会 (マリタイム ホテル)	08:20 ～ 16:30	技術セミナー セッション 1, 2, 3, 4 (運輸建設省)	09:00 ～ 16:50	テクニカル・ ツアー1 (シップリフト 施設)	07:30 ～ 20:00
歓迎レセプ ション (運輸建設省)	18:00 ～ 20:00	総会宴会 (船上)	19:00 ～ 23:00	民俗芸能と ディナー (宮殿)	18:15 ～ 22:00	テクニカルツ アー2 (立体水路)	07:30 ～ 20:00

また、5月15日には会長、4副会長、事務局長、委員会委員長が出席する執行委員会 (ExCom) が開催されています。

3. 総会の概要

総会に先立ち、前日16日の夜には運輸建設省庁舎のパーティオで歓迎レセプションが開催されました。



運輸建設省庁舎内のパーティオでの歓迎レセプションの様子

総会は5月17日の8時30分から、次のような内容で開催されました。

1. 会長からの歓迎のあいさつ、欠席者の報告、前回 AGA の議事録の確認がされた。
2. 先に逝去された De Paepe PIANC 前会長と東日本大震災の犠牲者に対して黙祷が捧げられた。
3. 日本政府首席代表の代理として、須野原氏から、東日本大震災で頂いた多くのお悔やみに対するお礼と震災後の状況、東京湾の港湾への入港の安全性について述べた挨拶がされた。



挨拶する須野原氏

4. 会長と事務局長からの活動報告がされた。主な項目は；
 - ・2010年～2014年の活動計画
 - ・イランが政府会員となった。
 - ・Smart Riverなどの会議との共催
 - ・プラチナメンバーが減っていたが、今回日本の努力で「五洋建設」がプラチナメンバーになった。
 - ・アルゼンチン、イギリス、日本で125周年記念事業が開催された。
 - ・PIANCの出版が印刷物に変わり、電子媒体となった。WG報告や機関誌の出版がされた。
 - ・ProComの中にEditing WGが設立され、Yearbookの編纂に当たっている。
 - ・新しい会員管理システムの運用に伴って、会費の支払いは非常に順調になっている。メキシコ、ブラジルの個人会員の入会があった。
 - ・アルジェリア、エジプトからの政府会員の支払いがされなかった。
 - ・各国内委員会が新しい会員管理システムを運用あるいは会費の支払い事務に大きな貢献をしている。
5. 財務委員会 (FinCom) 委員長報告
 - ・2010年は会費の収入減が€77,000、支出の増が€15,000となったが、なお€34,000(予算では€92,000)の収益があった。
 - ・今後は出版費の節減、フレミッシュ政府からの援助、プラチナ会員の増、政府会員の

増によって財務状況に問題がなく、2015年からの事務局長のフルタイム化の経費も不安はない。

6. 各委員会委員長報告

① InCom

- ・今回が委員長として最後の報告となる。
- ・会議の目的やメンバーの紹介
- ・WG レポートの取りまとめ、報告書作成状況の報告
- ・活動に新しいアイデアが必要

② MarCom

- ・各WGの活動並びに報告書作成状況の報告
- ・他のComのWGとの協調活動も多い。

③ EnviCom

- ・UN Millennium Development Goal No.7との協調、Working with Natureのコンセプトの基の研究
- ・Green Port WGはIAPHとの協調のもとに活動している。
- ・Climate Changeが活動の大きなテーマである。

④ RecCom

- ・委員会の活動経過の説明

⑤ CoCom

- ・Strategic PlanがExComで承認された。
- ・PIANC-COPEDECの共催
- ・通信委員を増やして活動をする。
- ・開発途上国からのメンバーを半分程度にする。

7. その他の承認事項

① 副会長の選出

アメリカ大陸代表バトラ氏の任期満了に伴い、アメリカ大陸代表としてJ. H. Healand氏を副会長に選出した。

② Resolution 11については一部表現を修正して承認された。

③ PIANC既定の一部改定（会費計算式の変更、WGメンバーの資格、会員マネジメントシステム、出版に関する規定など）を承認した。

④ 名誉会員として、Mr. Bruhl（ドイツ、元副会長）が認定された。

⑤ Strategic Plan 2012-2014が承認された。

8. 事務局長の件

事務局長の任期が2011年から4年間、2015年まで延長されることになった。

9. Best Performance National Sectionの発表

インド、オランダ、日本が立候補し、日本が受賞することとなった。

日本代表として塩崎課長がお礼のあいさつをした。



会長から受賞する塩崎課長



受賞した Best Performance National Section のメダルとプラーク

参考；2008：オランダ（ベルギー、アメリカ）、2009：アメリカ（インド、スペイン、ベルギー）、2010：ベルギー（オランダ、アメリカ）、（ ）内は他の候補国

1 0. MEDA 賞（マリーナ）はオーストラリアのマリーナが受賞

1 1. 新会長選挙

- ・選挙に先立って、候補者 4 人がパワーポイントを使って 10 分ずつ所信を表明した。
- ・第 1 回投票結果：フランス；75、アメリカ；45、ベルギー；30、イギリス；23
- ・上位 2 者による第 2 回投票の結果、Mr. Caude (フランス) が当選した。



技術視察で新会長 Mr. Caude と共に
川嶋副会長と柳生事務局長

1 2. MarCom 委員長の選任

MarCom 委員長の Mr. Caude が会長に当選したことにより新たに Fransico Esteban Lefler 氏（スペイン）が MarCom 委員長に選任された。

1 3. Climate Change に関する研究活動のため 3 つのサブグループを設立した。

1 4. 今後の国際活動

Smart River 2011、Dredging 2012、PIANC-COPEDEC VIII 2012、AGA 2012+Mediterranean Days(バレンシア、スペイン)

1 5. 名誉会長の承認

前会長の Eric Van de Eede 氏を名誉会長とすることが承認された。

4. セミナーの概要

技術セミナーは5月18日の9時から午後5時まで、次の4つのテーマについて開催された。

- 1) ドイツの水路とベルリン近傍の注目プロジェクト
 - ① Navigation and Waterways in Germany
 - ② Berlin and its Waterways
 - ③ Niederfinow Shiplift
- 2) 特殊構造物
 - ① Waterway Crossing Magdeburg
 - ② Kei Canal, New Constructions
 - ③ Kaiserlock Bremerhaven
- 3) 海港と水路
 - ① Port of Hamburg
 - ② Jade-Weser-Port
 - ③ Seaport of Bremen/Bremerhaven
 - ④ Sustainable Development
- 4) 持続性
 - ① Water Tourism
 - ② Main-Danube-Canal, Experience after 20 years of operation
 - ③ Climate Projections for sediment budgeting

これらの発表の中で、わが国ではなじみの薄い内陸運河に関するいくつかの例を紹介します。



Federal waterways

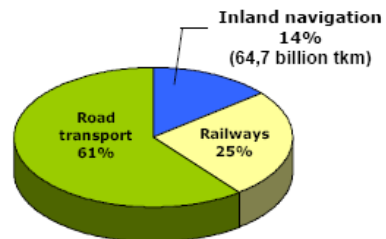
- 23 000 km² maritime waterways
- 7 300 km inland waterways
- Rhine river and tributaries (Mosel, Main, Neckar, Saar)
- West - east - axis (West German canal network, Mittelland-Canal, Elbe-Havel-Canal, Oder-Havel-Canal)
- Danube, Main-Danube Canal
- Access to seaports and connection to hinterland (Ems, Weser, Elbe)

ドイツの内陸水運ネットワーク



Density of goods traffic of inland and maritime navigation on the main waterways network (million t)

Volume of freight traffic on inland waterways (2007) : 249,0 million t



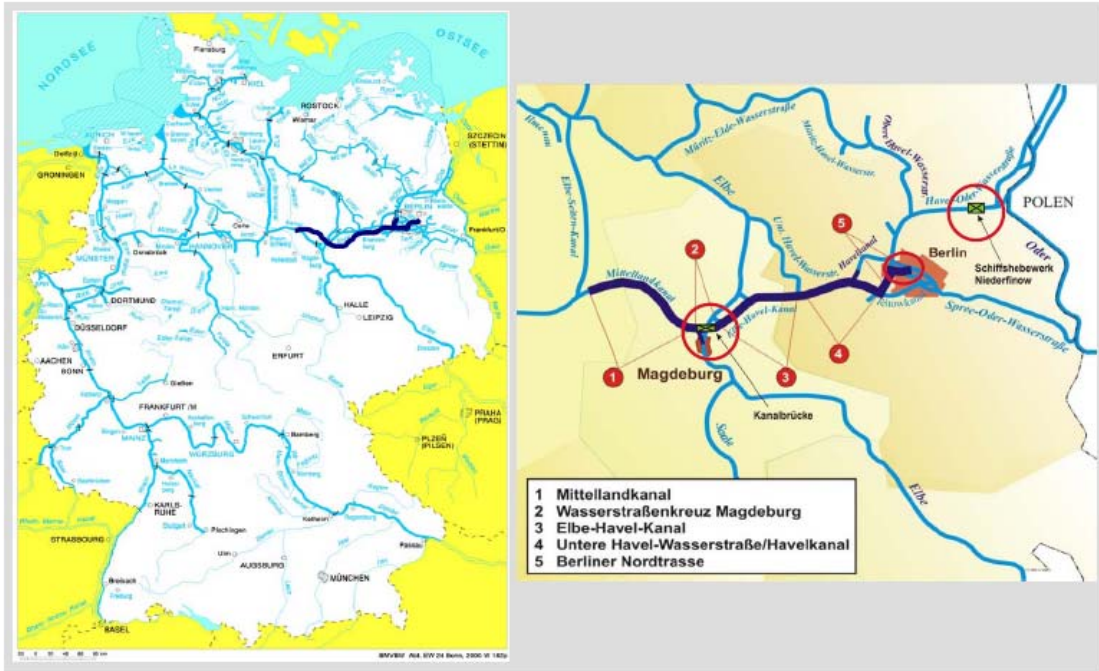
Modal split - traffic performance 2007 (tonne-kilometres)

ドイツの貨物輸送モダルスプリット

We make shipping possible.



German Unification Transport Project No. 17



ドイツ統合運輸プロジェクト No. 17



Niederfinow Shiplift のプロジェクトサイト
ト (右が工事中の新しいドック)

完成予想 CD (上側)

We make shipping possible.

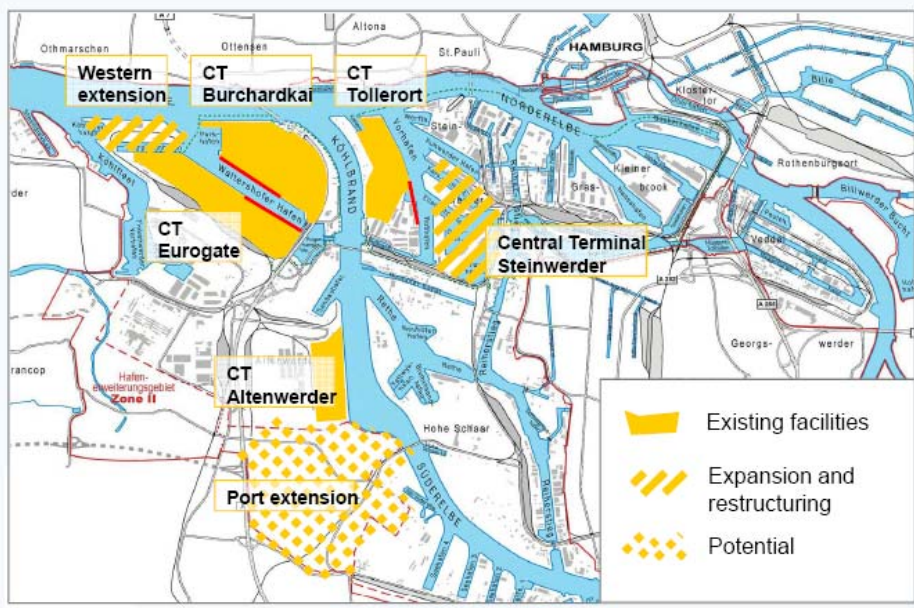
Content of presentation



Introduction 	Lock Rothensee 1997-2001 	Lock Hohenwarthe 1998-2003 
2nd Lock Wusterwitz 2008-2012 	2nd Lock Zerben Beginning 2012 	Low Water Lock Magdeburg 2008-2012 

ロックのプロジェクトサイト

Restructuring of existing port areas - Current and future projects-

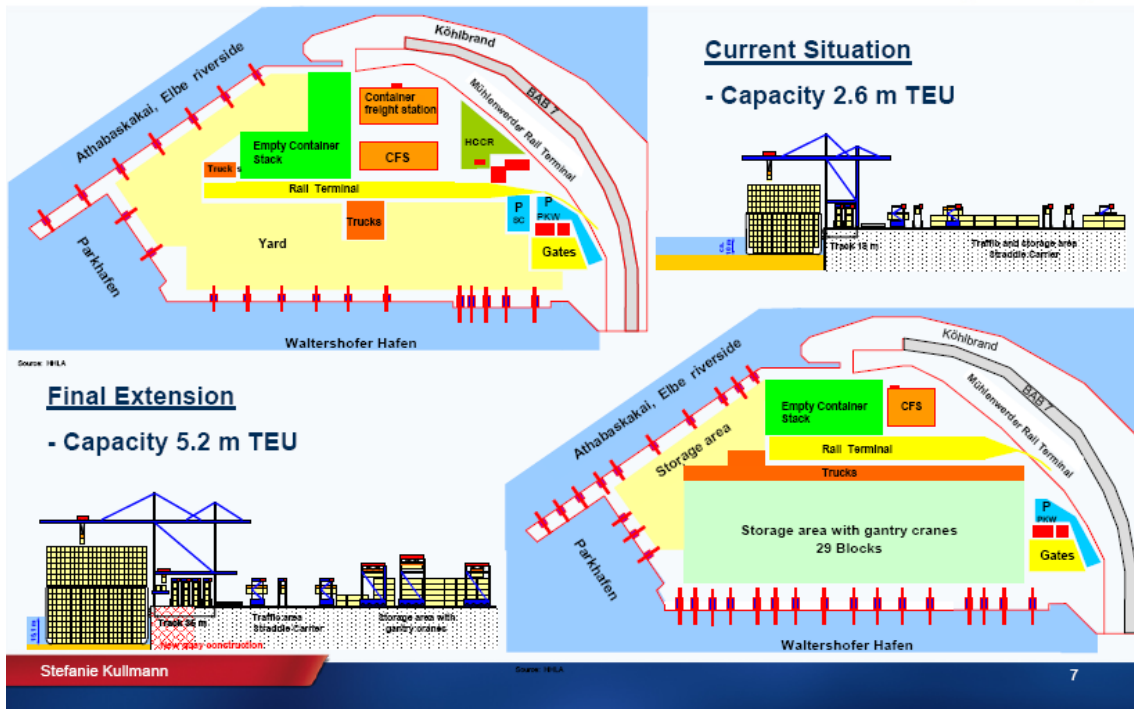


Stefanie Kullmann

6

ハンブルグ港将来拡張プロジェクト

Optimisation of existing systems/terminals - Container Terminal Burchardkai -



Burchardkai Terminal 拡張プロジェクト

The "Twin Ports" of Bremen und Bremerhaven



Bremen 港

AGA-10



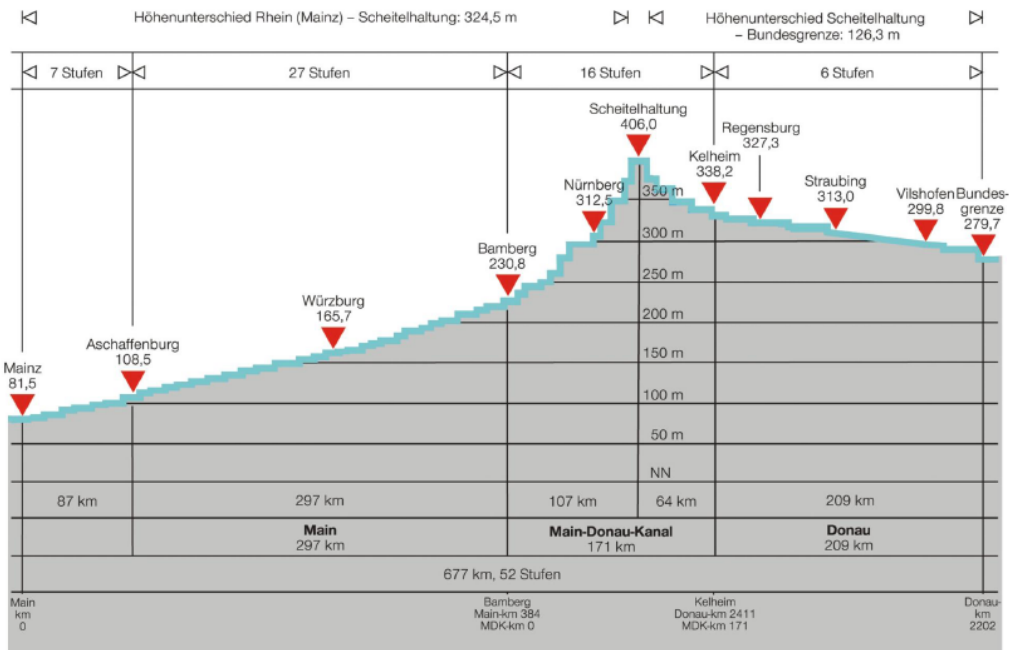
- Completion of the expansion of the Container-Terminal in Bremerhaven
- Overall-length of the quay-wall: 4.920 m
- CT4 is an enlargement of the quay-wall of 1.681 m and has a total size of 90 hectares

Bremen コンテナターミナル

Technical Concept



Contour Map



5

RMD Wasserstrassen

Main-Danube 運河縦断面図

5. テクニカルツアー

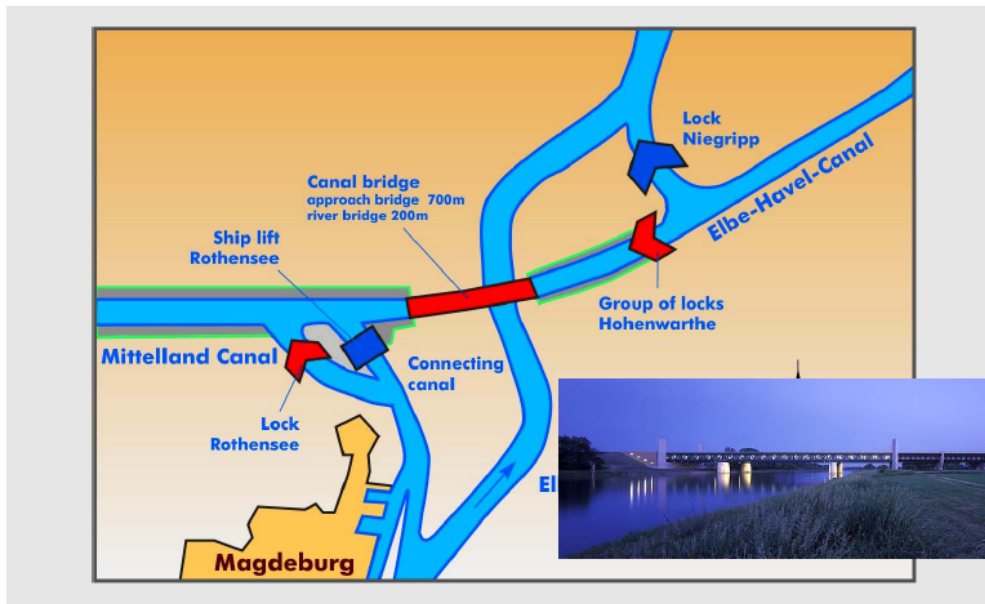
5月19日にはテクニカルツアーとして、NiederfinowのShip LiftとMagdeburgの立体交差水路に分かれての視察が行われた。ここではわが国ではもちろん、世界的にも珍しい立体交差水路の視察について報告します。

Magdeburgはベルリンの西方約200kmにあり、この立体交差水路はドイツ統一運輸プロジェクトNo.17の1つとして実施されたものです。この付近ではエルベ川とエルベ・ハーベル水路が交差していた。交差部では、バージなどが水路を大きく迂回して互いの水路を行き来しなければならなかったため、この交差部の航行を円滑化することが世界大戦以前から計画されました。それが1998年に着工され2003年に完成したものです。

We make shipping possible.

Waterway Cross Magdeburg

Implemented solution



Magdeburg Crossing 施設の位置関係

立体交差化するためにエルベ・ハーベル水路の水面を約 19m 高くする必要があり、Hohenwarthe Lock が建設されました。立体交差水路は水深 4.25m、幅 32m で、長さ 228m の鉄橋部分と長さ 690m のコンクリート橋の部分から構成されています。橋の部分には地震時や寒暖による変形を吸収するフレキシブルジョイントが設けられています。

このような施設の利用料金は水路利用料金（貨物の種類、トン数、輸送距離によって課金される）の中に含まれていますが、水路全体を含め料金のみでは維持管理費用も賄えないということです。



立体交差水路の全景



交差する水路（下がエルベ河）



交差する水路（上が Water Crossing）



Hohenwarthe Lock の全景

6. ディナーなど

① 船上ディナー

5月17日の夜は7時からベルリンの運河を周遊するレストラン船でディナーを食べながら、夜の11時まで運河沿いの建造物を見物しました。



船内の様子1



船内の様子2

② 宮殿晩餐会とコンサート

5月18日の7時ころからシャルロテンブルグ宮殿(1695年にプロセイン国フリードリッヒ1世が妻のために建てた)でディナーを食べた後、コンサートとミニオペラを楽しんだ。



宮殿内の晩餐会



ミニオペラの観賞



シャルロッテンブルグ宮殿前での AGA 参加者